

オープン市役所（究極の情報公開）
施策プロセスの見える化 モデル試行実施要領

1 趣旨

本市では、市政運営の透明性を確保し、市民の市政参加を促進することにより、市民本位の開かれた市政を実現するため、施策の発端から決定・実行までの施策プロセスを「見える化」という趣旨のもと、①施策プロセスの見える化、②市民の声の見える化、③予算編成過程の公表、④公金支出情報の公表の4つの柱で構成される「オープン市役所（究極の情報公開）」の取組みを実施している。

このうち、①については、平成25年4月までに、全所属を対象とした本格運用を開始するとしているが、それに先駆けて運用上の課題や問題点をあらかじめ洗い出し、改善・改良を図ることで本格運用への円滑な移行に資するため、モデル試行を実施する。

2 実施予定時期・所属

平成24年4月下旬 政策企画室

平成24年7月 全所属

（平成25年4月までに全所属で本格運用を開始）

3 実施方法

政策企画室においては、原則として1担当1施策を選定

政策企画室を除く全所属においては、少なくとも1所属1施策を選定

（当該1担当が、当該所属内における他担当に対する指導役を務める）